

第55期 事業報告書

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

公益財団法人 鎌倉能舞台
神奈川県鎌倉市長谷三丁目5番13号

〔Ⅰ〕当財団の概要

当財団は、世界無形文化遺産である能楽を中心に我が国古来の伝統芸能を広く普及・振興を図ることを目的に次の事業を展開しています。

『公益目的事業』として、能楽を中心とした伝統芸能の公開及び普及を目的とした「自主公演」や次世代への能楽の伝承と育成及び技術の向上を目的とする「受託公演」、伝統芸能の調査・研究並びに資料の収集と提供といった「普及振興事業」を行っております。また、『収益事業』を公益目的事業の支えとするため「舞台運営事業」があります。

なお、本事業で実施している内容全ては、世界遺産である能楽を中心とする伝統芸能の振興と普及を図ることを目的としていると位置づけられることから、『公益目的事業』の事業区分を一つの事業としております。

〔Ⅱ〕本年度の事業の状況

本年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が緩和されつつあり、日本国内では、インバウンドの観光客の回復や、東京株式市場の日経平均株価はバブル期の終値としての史上最高値を更新するなど、明るさもみられるようになりました。反面、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる為替相場の変動等により、全体として、先行き不透明な状況に変わりはありません。

そのような社会情勢のなか、当財団は公益目的事業にあげた自主公演を中心に、国、神奈川県、その他公的団体からの補助金や、出演者、熱心に通ってくださる観客の皆さまのお支えをいただきながら活動を進めてきました。

財団の存続、そして、能楽を未来の社会に正しく伝えるため、今後も引き続き努力をしてまいります。

1. 公益目的事業

（1）自主公演（能を知る会）

① 県民のための能を知る会（鎌倉・横浜公演）

能楽を定期的で開催し、伝統芸能「能」の普及を図るとともに、古都鎌倉文化の向上に寄与することを目的として、鎌倉能舞台及び横浜能楽堂（公益財団法人横浜芸術文化振興財団）にて合計 8 公演を行い、およそ 1140 人の観客動員を得ました。

日時	解説	狂言	能	人数	
◆於) 鎌倉能舞台 4日間 7公演					
5月11日	木	男物狂と女物狂	咲華・墨塗	土車・水無月祓	264人
10月28日	土	能の鬼・能の和歌	仏師・二人大名	安達原・俊成忠度	272人
11月23日	木	芭蕉が説く この世の道理	—	芭蕉	109人
1月28日	土	能の小道具 能の修羅物	魚説教・伯母ケ酒	弱法師・頼政	236人
◆於) 横浜能楽堂 1日間 1公演					
8月9日	水	角のある女 角を出す男	蝸牛	紅葉狩	262人

② 能を知る会（東京公演）

上演に際し、出演者や作り物などが大がかりになる演目に挑戦すること、また、神奈川県以外の観客層に当財団の存在を知っていただくため、国立能楽堂（独立行政法人日本芸術文化振興会）および観世流の活動拠点となる観世能楽堂（一般財団法人観世文庫）にて合計3回の公演を行い、観客は853人でした。

日時	解説	狂言	能	人数	
◆於) 国立能楽堂（渋谷区千駄ヶ谷） 1日間 1公演					
6月18日	日	小町と女房たち	長光	草子洗小町	280人
◆於) 観世能楽堂（中央区銀座） 2日間 2公演					
9月23日	土・祝	能の子方	重喜	鞍馬天狗	289人
3月14日	木	盛者必衰	清水座頭	大原御幸	284人

なお、鎌倉・横浜公演は神奈川県から文化芸術活動団体事業補助金 93 万円を、東京公演を含む「能を知る会」全体について、芸術文化振興基金「舞台芸術等総合支援事業」補助金 3,205 千円を受けました。

(2) 受託公演

学校公演なども開催が戻り、次の通り受託・補助金を得て児童・生徒等、学生向けに延べ36回（鑑賞延人数およそ6,500人）の公演を行いました。また、一般向け公演を次の通り延べ4回（鑑賞延人数およそ2,690人）開催しました。

① _a 文化芸術による子供育成推進事業「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」

当財団が申請した文化庁の文化芸術による子供育成推進事業「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」が採択されたため、各県や市の教育委員会の後援をうけながら、北海道・青森県 岩手県 宮城県 秋田県 小・中学校 12校にて学校巡回公演を実施、2193名が鑑賞しました。（文化庁補助金 38,872,456円）

本公演実施日		実施校名	参加人数
7月12日	火曜日	塩竈市立玉川小学校	329人
7月13日	水曜日	七ヶ浜町立松ヶ浜小学校	226人
7月14日	金曜日	気仙沼市立新月中学校	156人
9月12日	火曜日	東根市立大富中学校	130人
11月6日	月曜日	青森市立三内中学校	379人
11月7日	火曜日	南部町立南部中学校	105人
11月13日	月曜日	大船渡市立盛小学校	231人
11月14日	火曜日	遠野市立遠野中学校	125人
11月15日	水曜日	五戸町立倉石中学校	85人
11月16日	木曜日	三沢市立上久保小学校	116人
12月14日	木曜日	田原市立赤羽根中学校	72人
2月13日	火曜日	田原市立六連小学校	239人

① _b 神奈川県「青少年のための能楽鑑賞体験教室」

神奈川県のご負担金を得て、神奈川県下の小・中・高校を対象とする体験ワークショップと能楽鑑賞教室の公演を5回、およそ2,334人に行いました。

(神奈川県助成金50万円、茅ヶ崎市助成金30万円)

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
10/17(火)	鎌倉女子学院	学校体育館	能・狂言鑑賞	148人
12/21(水)	北鎌倉女子学園	鎌倉能舞台	能・狂言鑑賞	130人
1/20(土)	神奈川県・茅ヶ崎市主催	茅ヶ崎市市民文化会館	能楽ワークショップ ^o	26人
1/27(木)	川崎市小学校合同開催	カルッツ川崎	狂言鑑賞	2,000人
3/3(土)	神奈川県主催	神奈川県立 青少年センター	能楽ワークショップ ^o	30人

① _c 個別各学校主催の能狂言鑑賞会受託事業

例年、学校における授業の一環としての学生能楽鑑賞会を受託し、各校の講堂や能楽堂で公演を行っております。

今年度は、個別学校主催の学生公演は5校、およそ739人が鑑賞しました。

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
11/7(火)	杉戸町立西小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞・体験	38人

11/15(水)	久喜市立江面小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞・体験	63人
11/30(木)	玉川大学	横浜能楽堂	能・狂言鑑賞	325人
12/15(金)	横浜市立二俣川小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞・体験	63人
3/ 14(木)	慶應義塾湘南藤沢高等部	観世能楽堂	能・狂言鑑賞	250人

① _d 鎌倉市「鎌倉こども能」

鎌倉市の受託を得て、鎌倉市内在住の小学4年生から中学生に能楽のお稽古をして、発表会にて能を披露する事業「鎌倉こども能」は、令和5年度は15人の子供が参加、7月から3月まで20回のお稽古を実施。3月20日にコロナ禍以降初めて一般客も入れて発表会を鎌倉能舞台で行いました。（鎌倉市助成金 1,936,000円）

発表会	3月20日(水・祝)	子供たち15人と能楽師による能「土蜘蛛」
-----	------------	----------------------

① _e 鎌倉市「鎌倉能狂言 鑑賞・体験」

鎌倉市からの受託により、鎌倉市立小学校の児童が鎌倉能舞台を訪れ、狂言の鑑賞と体験を行いました。全16校13回の公演を開催、およそ1,280人が鑑賞しました。

（鎌倉市助成金 2,378,200円）

実施日	学校名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
10/6	第二小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	70人
11/17	第一小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	132人
11/21	今泉小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	91人
11/22	玉縄小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	76人
11/30	御成小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	88人
12/1	七里ガ浜・大船小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	127人
12/4	腰越・関谷小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	124人
12/5	稲村ヶ崎・植木小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	67人
12/7	深沢小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	131人
12/11	富士塚小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	40人
1/23AM	山崎小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	122人
1/23PM	西鎌倉小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	112人
2/16	小坂小学校	鎌倉能舞台	狂言鑑賞体験	100人

② 一般向け公演

イベントや市民の情操教育の一環として、各種団体から能狂言の公演を受託しております。
当年度の受託状況は以下の通りです。

実施日	公演名	開催場所	公演内容	参加人数(人)
8/15(火)	相模薪能	寒川神社	中止(※)	—
8/19(土)	能楽キャラバン	湯沢市文化会館	狂言1番、能1番	433人
11/8(水)	能楽キャラバン	八戸市公会堂	狂言1番、能1番	631人
11/18(土)	善福寺能	相州西之坊善福寺	仕舞2番、能1番	100人
1/13(土)	府中市民能	府中の森芸術劇場	狂言1番、能1番 午前・午後2回公演	800人

※寒川神社薪能は台風接近のため中止となりましたが、公演料は全額お支払いいただきました。

そのほか、公益社団法人能楽協会が採択された文化庁アートキャラバン補助事業の一環として、能楽協会主催の公演を当財団が受託。8月19日に秋田県湯沢市、11月8日に青森県八戸市にて開催、1,064人が鑑賞しました。

(3) 調査・研究

伝統芸能の調査と研究及び資料の収集のため、未記録演目の録音録画・写真撮影、必要に応じて能楽関連の調査・研究とこれに基づく作り物・小道具等の制作を行なっています。これらの資料は要望に応じて一般に公開しています。

また、「能を知る会」での字幕の作成など、「字幕e能」（わかりやすい字幕解説付き能楽鑑賞システム）の対象演目の拡張に取り組みました。

また、公演に足を運んで頂けないお客さまに能楽を知っていただくためにYouTubeチャンネルを開設しており、能の公演ダイジェスト版の他、能についてのレクチャー等、多くの動画を無料配信しております。

【鎌倉能舞台 YouTube】



2. 収益事業

(1) 舞台運営事業

① 貸会場

舞台設備としての鎌倉能舞台は、能舞台としてはやや小ぶりながらも、舞台と客席が近く、椅子に座って楽に鑑賞できる座敷舞台です。客席も150席と少なく、舞台と観客の一体感を醸し出せるような独自の設計を取り入れ、能狂言に限らず、各種の芸能上演・鑑賞・お稽古・おさらい会・発表会の場として、また講演会や展示会場としてご利用いただいています。

② グッズ制作・販売

当財団オリジナルのクリアファイル、タオル、カレンダーなどの制作・販売を行っております。

③ 和カフェ「能舞台茶寮 神楽」

令和4年度より能舞台・能面、能装束を見ながらお茶の飲める和カフェを営業しています。名物は“女面”と“般若面”を模した「能面ラテ」で、るるぶ等の観光ガイドなどにも取り上げられています。（神奈川県ビジネスモデル転換補助金の採択による）

3. 賛助会員／寄付金

当財団の第一目的の「能楽の振興及び普及」を支えてくれる支援者を広く募集するため、賛助会員制度を設けています。今年度は個人会員、法人会員に207件のご加入と、2件のご寄付をいただきました。

これからも「どなたにも馴染める能」の振興と普及に努め、社会への一層の貢献を目指す所存です。今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

[Ⅲ] 役員に関する事項

(1) 評議員 (計8名)

氏名	就任時期	現職名	備考
本田 博保	H23/11/1	観世流能楽師師範	R4/6/22 再任
廣澤 幹久	H23/11/1	弁護士	同上
岩崎 久人	H23/11/1	能面師	同上
湯澤 大地	H23/11/1	(株)千里代表取締役	同上
小林 利弥	H23/11/1	(有)小林タイヤ商会代表取締役	同上
中森健之介	H27/6/17	観世流能楽師準職分	同上
林 雅己	R4/6/22	(有)リンクコンサルティング代表取締役	R4/6/22 新任
久保田宏二	R4/6/22	観世流能楽師師範	同上

(2) 理事 (計10名)

役名	氏名	就任時期	現職名	備考
代表理事	石渡 徳一	H22/ 5/24	前鎌倉市長(株)萬屋本店代表取締役	R4/6/22 再任
業務理事	中森 貫太	H 3/ 5/21	観世流能楽師準職分	同上
業務理事	藤川 譲治	H20/ 5/24	(有)鉢の木 代表取締役	同上
理事	近藤 浩通	S63/ 5/21	広瀬川美術館館長	同上
理事	坂倉 徹	H 9/ 5/24	(株)サカクラ代表取締役	同上
理事	若林 隆壽	H14/ 5/21	宗教法人乗蓮寺(東京大仏)住職	同上
理事	井手 太一	H18/ 5/24	(株)湘南ニックンプレニング代表取締役	同上
理事	浅尾慶一郎	H22/ 5/24	参議院議員	同上
理事	大崎 哲郎	H26/ 6/18	グリーンハイヤー(株)代表取締役会長	同上
理事	永田磨梨奈	R 5/ 6/23	神奈川県会議員	R5/6/23 新任

(3) 監事 (計2名)

役名	氏名	就任時期	現職名	備考
監事	鴻谷 正博	H24/5/29	亀井工業ホールディングス(株)顧問	R4/6/22 再任
監事	露木 朗	H24/5/29	司法書士	同上

[IV] 役員会等に関する事項

(1) 評議員会

開催日	議事	結果
R5/6/23	1. 第54期(2022年4月～2023年3月)公益財団法人鎌倉能舞台事業報告の件	全会一致による承認
	2. 第54期(2022年4月～2023年3月)公益財団法人鎌倉能舞台貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件	
	3. 増員理事1名選任の件	

(2) 理事会

開催日	議事	結果
R5/6/5	1. 第54期(2022年4月～2023年3月)公益財団法人鎌倉能舞台事業報告および決算について	全会一致による承認
	2. 増員理事候補者1名の決定の件	
	3. 定時評議員会招集の件	
	4. 代表理事及び業務理事の職務の執行状況報告について	
	5. 装束料、出演料について	
R6/3/19	1. 令和6年度事業計画および予算案について	全会一致による承認
	2. 資金調達及び設備投資の見込みについて	
	3. 装束料・出演料について	
	4. 代表理事及び業務理事2名の職務の執行状況報告について。	

以上